

「日韓産業技術フェア 2016」開催報告

(一財) 日韓産業技術協力財団
事業第三部長 初瀬川 茂

日韓産業技術協力財団では、日韓両国のビジネス交流を支援する活動を推進しています。そのひとつとして毎年「日韓産業技術フェア」を韓日財団と協力して開催・運営し、商談会をはじめ様々なビジネス交流の場を提供しています。

今年も10月下旬ソウルにて第9回目となる「日韓産業技術フェア 2016」を開催し、300社を超える日韓両国企業の参加を得ました。

「日韓産業技術フェア 2016」開催概要

- ◆日程：2016年10月27~28日（木・金）
- ◆場所：ロッテホテルソウル（ソウル市内）
- ◆主催：産業通商資源部（韓国）
- ◆主管：（韓国側）韓日産業・技術協力財団
（日本側）日韓産業技術協力財団
- ◆主要実施事業：



- a. 日韓両財団共同事業：日韓中小企業商談会（参加日本企業：29社）
- b. 韓日財団単独事業
 - ① 協力諸機関（大阪商工会議所、岐阜県等）による調達商談会（日本企業：35社）
 - ② 技術指導相談会（日本企業OB技術者：46名）
 - ③ 韓日協力セミナー（テーマ：「低成長時代の中小企業生き残り戦略」）
 - ④ 自動車産業交流会（日本自動車メーカー1社の調達セミナー・商談会）
 - ⑤ 青年人材採用相談会（日本企業29社、学生約200名…これのみ10月28日実施）

1. 「開会式」

- ・日時：10月27日（木）9:30~10:00
- ・会場：ロッテホテルソウル2階 Crystal Ballroom
- ・開会挨拶：韓日産業技術協力財団 金 鉦 理事長
日韓産業技術協力財団 是永 和夫 代表理事
- ・政府挨拶：（韓国）金 学 道 産業通商資源部 通商交渉室長
（日本）長嶺 安政 駐大韓民国日本国特命全権大使
- ・参列来賓（日本側）：外務省日韓経済室 大野室長、ソウルジャパンプラブ 三木理事長、
ジェトロソウル事務所 保科所長



長嶺安政 駐大韓民国日本国特命全権大使



日韓財団 是永和夫 専務理事

2. 「日韓産業協力賞」授賞式

- ・日時：10月27日（木）10:00～10:15
- ・会場：ロッテホテルソウル 2階 Crystal Ballroom
- ・産業通商資源部長官賞（6名）、韓日財団理事長賞（4名）

3. 「フェア開幕セレモニー」

- ・日時：10月27日（木）10:15～10:20
- ・会場：ロッテホテルソウル 2階 Crystal Ballroom
- ・開会式参列VIP（9名）による本フェアのプログラム開幕セレモニー



4. 「第27回日韓中小企業商談会」

- ・日時：10月27日（木）10:40～18:30
- ・会場：ロッテホテルソウル 2階 Crystal Ballroom
- ・主催：日韓産業技術協力財団、韓日産業技術協力財団
- ・後援：（日本）経済産業省、（韓国）産業通商資源部
- ・参加企業：日本企業 **29社**、韓国企業 **84社**が参加し、**150件**の商談が行われました。
商談会終了直後の日本企業アンケートにて、実施商談のうち **3件**が当日に成約した

との嬉しい報告がありました。さらに商談全体の**67%が有望**で今後商談を継続したいと報告され、今回の商談会が有効であったとの評価を多くの企業から得ました。数か月後に商談進捗状況をフォローアップします。

- ・今回商談会の傾向：2009年頃から韓国調達を希望する日本企業が多い状況が続いていましたが、2013年以降は円安ウォン高の為替状況も踏まえ、日本からの輸出ビジネスにも注力して日本企業を募集しています。その結果、今回参加29社のうち12社が輸出ビジネス希望でした。さらに残り17社の中にも調達だけでなく輸出ビジネス商談も含めて希望する企業が3社ありました。そこでマッチング先候補として韓国の中小企業に加え中堅・大手企業も積極的に発掘し、日本企業の輸出ニーズにも応えべく商談会当日までも面談を追加アレンジしました。
- ・日本企業交流会：商談会前日の晩、商談会場近くの飲食店にて、商談会のため訪韓した日本からの参加者40名程が集まり、日本企業同士の活発な情報交換・交流が行われました。今回の商談会参加の付加価値として大いに盛り上がり好評でした。

以上

